

# 水野けんいち レポート

KENICHI MIZUNO REPORT

〈Vol.40〉

発行所/佐倉市王子台1-14-4

TEL. 043-463-2400

FAX. 043-463-0475

E-mail:office@mizunokenichi.com

## 消費税の安易な増税には反対

税率アップよりもまず税金の無駄遣いの一掃を

消費税の取り扱いは経済財政政策の最大のテーマになっている  
この問題についてどう考えるか水野賢一衆議院議員に聞いた

**Q1** 財政難の中、消費税率を上げざるをえないという声もありますが。

**水野**

確かに日本の財政は危機的な状況です。増税の議論から逃げてはいけませんが、だからといって安易な増税には反対です。まずは税金の無駄遣い撲滅に全力を傾注すべきだと思います。

消費税は1%上げると税収が2兆5千億円増えるので、上げると言った途端に「わざわざ苦労して切り詰める必

要はない」という雰囲気になり、無駄撲滅の気運が雲散霧消しかねません。

また税率アップは景気を冷え込ませる効果がありますし、逆進性があるため低所得者ほど負担感が重くなります。

その点からも安易な増税には慎重でなければなりません。

**消費税とは**

消費税は間接税の一つ。昭和63年竹下内閣の時に消費税法が成立し、翌平成元年に税率3%で導入された。それ以前にも大平内閣が一般消費税を、中曽根内閣が売上税の導入を目指したが頓挫していた。平成9年に税率が5%に上がる。この時から1%分が地方消費税という都道府県税となる。残り4%分は国税である。

**Q2** 多くの国民は税金の無駄遣いに対して怒っています。

**水野**

貴重な税金を無駄にすることはそもそも許されません。ところが今年は居酒屋タクシー問題や道路特定財源でマッサージチェアを購入したことなどが発覚しました。これでは国民が怒りと不信感を持つのも当然です。

私は党の「無駄遣い撲滅プロジェクトチーム」の主査の一人として徹底的にメスを入れているところです。

こうしたことは会計検査院や財務省主計局の仕事とも言えますが、役所任せではなく政治家の立場からきちんと精査していこうと思います。

調べれば調べるほど広報費・委託調査費の名目でよく分からない支出が見受けられます。また公益法人への支出や随意契約にも不明朗なものがあります。

今後もしっかりと監視の目を光らせていきます。

**会計検査院とは**

会計検査院は国家財政の決算が適切かどうかを検査する国の機関。ただし内閣、国会、裁判所のいずれにも属さない独立した組織となっている。設立は明治13年。平成18年度の決算検査報告では310億円の公金の不正支出などを指摘した。職員は約1,300名。